

日本工学会CPD協議会  
平成22年度第1回運営会議議事録(案)

日時：平成22年4月14日(水) 10:00~12:00

場所：日本工学会 事務所 (港区芝5-26-20 建築会館6階)

出席者(順不同、敬称略)

委員長 桑原 洋  
委員 川島 一彦  
委員 関田 真澄  
委員 橋谷 元由  
委員 持田 侑宏  
委員 田口 裕也  
委員 岡田 恵夫  
事務局 四戸 靖郷

配布資料：

SC10-1-1 平成21年度第2回議事録

SC10-1-2 CPD-WG 平成21年度活動報告

SC10-1-3 ECE-WG 平成21年度活動報告

議 事：

議事に先立ち、桑原委員長から挨拶が行われた。

この後、議題に沿って活発な議論が展開されたので、主な論旨を要約して記録した。

1. 前回議事録の確認

平成21年11月30日(月)に行われた、21年度第2回CPD協議会運営会議の議事録が確認された。

2. CPD-WGの活動報告および今後の活動

① CPDガイドラインの策定のため、タタキ案を作成し、工学会HPに掲載し、また各会員に提示して広く意見を募集し、これに基づき議論・検討を重ね、最終案の作成にかかっており、22年度早い時期に「日本工学会CPDガイドライン」として公表する予定であるとの報告が関田主査から行われた。

② 数年前から“ポータルサイト”の検討が行われているが、結論が出ないまま状態であったが、情報処理学会の委員の協力を得て具体化へ向けての専門的な検討も進み、平成22年度において第一段階の実現を図ることとなったとの報告があった。これは、工学会の頁から各学協会のCPDプログラムに行けるようにするもので、掲載事項の更新やメンテナンスは各学協会に対応することとなるので、理解と協力を求めていく必要がある。

## 2. ECE-WG の活動報告および今後の活動

### 1) 平成 21 年度の活動報告

- ① ECE-WG では、ナノテクプログラムの実施を、産総研の「ナノエレクトロニクス実践型研究リーダー養成プログラム」において構成、評価プロセスを取り入れていただくことでの実現ができる見通しになったとの報告がなされた。
- ② ナノテクに次いで、環境問題 ECE プログラムとして、環境問題を取り上げる予定で、その概要についての検討を行った。

### 2) 平成 22 年度活動計画

#### ① 「ナノエレクトロニクス実践型研究リーダー養成プログラム」

川島主査から、同が採択された場合、その実施のための「ナノテク ECE プログラム開発・実施分科会(仮称)」を立ち上げたい。そのために、CPD 協議会の中における位置づけなどを検討する必要があるとの見解が述べられた。

- a. 「ナノテク ECE プログラム開発・実施分科会(仮称)」をどのように位置づけるか、CPD 協議会の下に、「ECE プログラム委員会(仮称)」を設置し、その下に各種 ECE プログラム開発・実施分科会(WG)等を置くように検討していくとのことである。
- b. ECE プログラムに貢献するメンバーに対するインセンティブとして、日本工学会の称号を何らかの称号の付与ができないか検討、今後継続して検討していくこととした。

#### ② 環境問題 ECE プログラム(仮称)の立ち上げ

環境問題 ECE プログラム(仮称)のコーディネーターを内定すると同時に、平成 23 年度実施に向けて、分科会の結成、講義内容の確定、テキスト執筆などを行うとの計画が示された。

以上